



2022年3月18日

各 位

会 社 名 サ ス メ ド 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 野 太 郎  
(コード番号：4263 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 小 原 隆 幸  
(TEL. 03-6366-7780)

## 九州大学とサスメド、AMED 採択研究「心房細動における経皮的カテーテル心筋焼灼術のエキスパート治療を提案する人工知能モデル開発」に関する共同研究開始のお知らせ

サスメド株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役社長：上野 太郎、以下「当社」)は、国立大学法人九州大学(所在地：福岡県福岡市、総長：石橋 達朗、以下「九州大学」)と「心房細動における経皮的カテーテル心筋焼灼術のエキスパート治療を提案する人工知能モデル開発」(以下「本共同研究」)に関する共同研究契約を締結し、このたび共同研究を開始しましたのでお知らせいたします。本共同研究は国立研究開発法人日本医療研究開発機構(以下「AMED」)令和3年度 メディカルアーツ研究事業との連携による「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業」に採択されております。

### 1. 共同研究の概要

脳梗塞の主要な原因の一つである心房細動\*に対しては、経皮的カテーテル心筋焼灼術\*\* (以下「アブレーション治療」)を用いることで、その多くが治療可能とされています。一方で標準的なアブレーション治療を実施しても完治しない症例が報告されており、このような複雑な症例(以下「難治性心房細動」)に対して術中の限られた情報と時間の中で十分な治療効果を得るには、エキスパートによる正しい電気生理学所見の解釈と熟達した心臓カテーテル技術が不可欠とされます。

九州大学は当分野における豊富な経験と幅広い知見を有しており、当社が有する医療ビッグデータのAI解析・検証のノウハウを活用することで、本共同研究では、難治性心房細動に対する至適なアブレーション治療を提供するためのエキスパートによる治療技術の収集基盤構築と見える化を目的とした、心筋焼灼部位ならびに焼灼法、さらにはその後の治療経過に関するデータベースの構築、集められたデータの集約・傾向の解析を行います。

循環器疾患診療実態調査(JROAD)\*\*\*では、アブレーション治療の件数は年々増加しており、2015年には56,713件/年ですが、2021年には103,288件/年と著増しています。九州大学と当社は、本共同研究を通じて、難治性心房細動に対するより至適なアブレーション治療の提供を目的とした研究開発を共同して行うことで、患者さま、医療従事者の皆さまに貢献してまいります。

\* 心房細動：心房と呼ばれる心臓内の一部が痙攣し、心臓が不規則的な動きをする不整脈の一種。

\*\* 経皮的カテーテル心筋焼灼術：治療用のカテーテルを足の付け根や首の静脈から血管を通じて心臓に挿入し、カテーテル先端から高周波電流を流して焼灼(焼いて治療すること)することで不整脈を治療する治療方法。

\*\*\* 循環器疾患診療実態調査報告書(2019年度実施・公表及び2021年度実施・公表)

([https://www.j-circ.or.jp/jittai\\_chosa/media/jittai\\_chosa2018web.pdf](https://www.j-circ.or.jp/jittai_chosa/media/jittai_chosa2018web.pdf))

([https://www.j-circ.or.jp/jittai\\_chosa/media/jittai\\_chosa2020web.pdf](https://www.j-circ.or.jp/jittai_chosa/media/jittai_chosa2020web.pdf))

## 2. 業績への影響

本件による、当社の当期業績に与える影響は軽微であります。今後、業績への重大な影響が認められる場合には、その内容を速やかにお知らせいたします。

以 上